

令和6年12月12日

世田谷区長 保坂展人 殿

## 要望書

自由民主党世田谷区議団  
幹事長 石川 ナオ



国では、HPV ワクチンのキャッチアップ接種対象者の無料接種について最長1年延長する方向性を示している。すでに我々区議団からも接種期間の延長を求めているが区長会等でも区長から要望していただきたい。また、災害対策として区では防災カタログギフトで自助での備蓄を推進する取り組みを実施しているが、公助として有事の際の災害対策用医薬品等の備蓄も強化していただきたい。併せて、今後、必要不可欠な都市施設とされる火葬場については、今こそ、検討を先送りすることなく建設的な議論を進めていただきたい。

以下、令和7年度予算に盛り込むよう、強く要望する。

### 記

以上

1. HPV ワクチンキャッチアップ接種無料期間延長について  
キャッチアップ接種については公費接種が来年3月末まで可能となっていたが、今年10月からワクチン不足が発生しており希望者が接種できない状況にある。国では無料接種期間の延長措置を提示しており区でも医師会と連携の上、期間延長及び当面の間は時限的措置を踏まえて期間延長を進めていただきたい。  
また、男性接種費用助成も開始されているが、今後広く周知していただくことを求める。
2. 災害対策用医薬品等の備蓄の強化について  
避難所等で使用する医薬品において、発災時に倉庫から災害拠点病院等へ輸送が困難になった場合の回避策として各地域に医薬品備蓄倉庫の設置を求める。また、医薬備蓄品の使用期限切れを防ぐためランニングストック方式を導入していただきたい。さらには、供給量不足で備蓄できない薬に対しては、代用類似医薬品等で柔軟に対応するなど、必要な医薬品の備蓄に努めるよう要望する。
3. 火葬場の建設について  
多死社会を迎え、今後、23区は、2060年頃に死者数がピークとなり火葬場の不足が想定されている。区として、近隣自治体の状況や法令等について調査等を進め、火葬場設置に向けて区長会等にも働きかけていただくよう求める。